#アンプde GO!! with Marshall season2

第8回

小鳩ミク [BAND-MAID]

“アンプでギターを鳴らす大切さ”を伝えるべく始動した『#アンプde GO!!』。シーズン2の第8回目となる今回は、BAND-MAIDの小鳩が登場！　マーシャルのエントリー・モデル：MG10で彼女はどんなサウンドを作り上げるのか。本誌Twitterアカウントにアップされる動画と共にそのサウンドを楽しんでくれ！

Text／HIROKI KATAGIRI [GiGS]
Photo／REISHI EGUMA [C-LOVe CREATORS]

製品のお問合わせ先／ヤマハミュージックジャパン [http://www.marshallamps.jp]

アンプに繋ぐことで ギターの本来の姿を知った

「初めてアンプを鳴らしたときのことは今でも覚えていますっぽ。私はBAND-MAIDがキッカケでギターを始めたので、最初の頃は本当に何も分からない状態で。それこそアンプの種類やモデル毎の特徴とか違いも全然知りませんでした。でも、初めてギターをアンプに繋いで鳴らしたとき、とにかくすごい！って。自分の持っているギターの、本来の姿を知った瞬間というか。あと、初めて自分がギタリストに見えた瞬間でもあって、すごく感動したんですっぽ。

マーシャルのアンプは王道ですっぽね。アンプと言えばマーシャルって言えるくらい。アンプを初めて鳴らしたときにもマーシャルがスタジオにあって…JCM900とかJCM2000だったと思うんですけど、初心者ながらスゴそうなアンプだなって思ったんですっぽ。

今回使わせてもらったMG10もめちゃくちゃスゴいアンプですっぽ。サイズが小さいのにパワフルな音で、“これぞマーシャル”っていう太さがありますね。ツマミもシンプルで分かりやすいから、初心者の方でも取っ付きやすいアンプなんじゃないかと思いましたっぽ。それに、ヘッドフォンが挿せるから音を気にせず家で練習できるのも良いですし、音源を挿して流せるのも素敵ですね。これなら曲に合わせて練習ができますっぽ」（小鳩）

▲「MG10はそれぞれのツマミの効き幅がとても広いんですっぽ。だから“このツマミを回すとこうやって変化するんだな”ってことが分かりやすくて、そこも初心者の方にオススメしたいポイントですね。私は普段から“ボトムをしっかり支えられるようなミドル”を意識していて、今回もそういう厚みのある“悪どい音”を狙って作ってみましたっぽ。ボリュームは鳴らす場所に応じて変えるとしても、ゲインは思い切ってフルテンです（笑）。それでも音が潰れすぎないのがすごいですね。コンツアーは0から徐々に上げていって、自分のテンションが上がるところで設定しましたっぽ」（小鳩）

小鳩のサインが入ったMarshall MG10を1名様にプレゼント!

応募方法

①GiGSのTwitter【@GiGS_Official】をフォロー。
②YamahaのK-ONB（けいおん部）【@yamaha_k_onb】かMarshall Japan【@Marshall_Japan】のいずれかをフォロー。
③本特集と連動したアーティスト試奏動画ツイートをRTするだけ！
※締切は12月27日24時まで！ 当選者はDMにてご連絡いたします。ドシドシご応募ください!!